

# 死亡診断書(死体検案書)作成ソフト(DiedAi)について

平成29年7月12日  
日本医師会 定例記者会見

The screenshot shows the homepage of the Japanese Medical Association (JMA) under the 'Medical Safety and Cause of Death Investigation' section. The page title is '医療安全・死因究明' and the sub-header is '日本医師会 死因究明のとりくみ' dated 2017.6.29. The main text discusses the importance of death investigation and the government's 'Death Investigation Promotion Plan' (死因究明等推進計画) established in June 2016. It mentions the reconstruction of the death investigation system and the urgency of this task due to the Great East Japan Earthquake and the need for a multi-body autopsy system. The text also notes the JMA's efforts to improve the quality and efficiency of death investigations, including the nationwide standardization of police cooperation and the preparation for disaster-related activities.

【厚生労働行政推進調査事業費補助金研究事業】	
高齢化社会における死因究明の推進に関する研究 (H28-医療-指定-023) 総括研究報告書 <b>NEW</b>	▶
高齢化社会における死因究明の推進に関する研究 (H27-医療-指定-020) 総括研究報告書	▶
高齢化社会における死因究明の在り方等に関する研究 (H26-特別-指定-003) 総括研究報告書	▶
死亡時画像診断 (Ai) におけるe-learningシステム	▶
死亡診断書(死体検案書)作成ソフト 橙 (DiedAi)	▶

日本医師会ホームページ  
「医師のみなさまへ」

⇒

「医療安全・死因究明」に掲載  
のリンク先(日本医師会ORCA  
管理機構ホームページ)にて  
公開中



## DiedAi 死亡診断書(死体検案書)作成ソフト

### お知らせ

- 2017-07-03 DiedAi 死亡診断書(検案書)作成ソフト Ver1.7.2をリリースしました
- 2016-07-06 追加機能を公開しました
- 2016-07-06 マニュアルを更新しました
- 2016-07-06 DiedAi 死亡診断書(検案書)作成ソフト Ver1.5をリリースしました
- 2015-11-19 FAQ(よくあるお問い合わせ)を掲載しました
- 2015-11-04 DiedAi 死亡診断書(検案書)作成ソフトをリリースしました

### コンテンツ

[動作環境](#)[インストーラ](#)[マニュアル](#)[アップデート履歴](#)[FAQ\(よくあるお問い合わせ\)](#)[免責](#)

本ソフトウェアは、「平成26年度厚生労働科学特別研究事業の高齢者社会における死因究明の在り方等に関する研究(以下本事業という)」において、「新たな様式案」を提案・作成するにあたり、その妥当性を検討するとともに、原死因の精度を上げるために、死亡診断書(死体検案書)の電子化を検討するための手段として作成されたものです。

本事業にて検討された追加項目については、別添様式として出力可能とし、項目の妥当性を検証可能とすることで、実用性を考慮したものと なっています。

平成27年度からは、「厚生労働行政推進調査事業費補助金地域医療基盤開発推進研究事業」に検討の場を移し、死因病名入力ガイドス と登録された内容を元に各種の統計データを作成するためのCSV出力機能の実装を行いました。  
死産証書(死胎検案書)、出生証明書の登録・出力は実装していません。

ソフト名は、死亡診断書から出生証明書まで発行することから「次の世につながる」、さらに、本事業において追加項目の一つとして検討された「AI(死亡時画像診断:オートプシー・イメージング)」をモチーフに、代々つながる→ダイタイ→檔→DiedAiと命名されました。

## 日本医師会ORCA管理機構ホームページ

<https://www.orca.med.or.jp/diedai/>

(2017年7月12日現在)

Firebird-2.5.0.26074\_0\_win32以上 ※推奨  
Firebird-2.0.7.13318\_0\_win32以上  
\*「医見書」と共存させる場合には、データベースはFirebird-2.0系をご使用ください。

- Microsoft .NET Framework 3.5以上
- Adobe Reader (バージョンXI) 以上を推奨

### インストーラ

DiedAiを使用するためには以下の環境を構築してください。

- [DiedAi インストーラ Ver1.7.2 \[MSI\] \(2017-07-03\) \*\*NEW\*\*](#)

※インストーラは、DiedAi本体プログラムのみをインストールします。DiedAiを動作させるには、前項の動作環境を整え下記データベースを別途インストールする必要があります。

※「医見書」と共存させる場合には、データベースはFirebird-2.0系をご使用ください。

- Firebird-2.0 インストーラ: [Firebird公式サイト](#)
- Firebird-2.5 インストーラ: [Firebird公式サイト](#)
- IPAmj明朝フォント: [独立行政法人情報処理推進機構](#)
- 傷病名マスター: [診療報酬情報提供サービス](#)  
※ DiedAiは「傷病名マスター(平成28年12月26日版)」を登録しています。マスターが更新された場合には、上記よりマスターファイルをダウンロードしてご自身で更新願います。
- Adobe Acrobat Reader DC: [Adobe 公式サイト](#)

### マニュアル

- [DiedAi マニュアル \[PDF\] \(2017-07-03\) \*\*NEW\*\*](#)

### アップデート履歴

#### 2017-07-03 Ver1.7.2

- 戸籍統一文字の入力・表示対応(氏名欄のみ)
- 画面遷移の改善
- 項目選択時の丸印の印字を修正
- 死亡届への患者情報記設定を追加
- 入力文字の出力内容の変更
- 死亡診断書作成マニュアルを平成29年度版に変更
- 死因病名検索に「MI\_CAN」連動を追加
- 傷病名マスタ(20161226公開版)を登録

#### 2016-07-06 Ver1.5

- 死因入力ガイドスの実装

### 免責

本ソフトウェアは「厚生労働行政推進調査事業費補助金地域医療基盤開発推進研究事業」の「高齢化社会における死因究明の推進に関する研究」のなかで、死亡診断書(死体検案書)の電子化を検討するために作成されたソフトウェアです。自由にご使用ください。

なお、著作権は作者である「公益社団法人日本医師会」が保有しています。

このソフトウェアを使用したことによって生じたすべての障害・損害・不具合等に関しては、日本医師会は一切の責任を負いません。各目の責任においてご使用ください。

なおソフトの不都合に関するお問い合わせは [diedai@orca.med.or.jp](mailto:diedai@orca.med.or.jp) までお願いいたします。

[日本医師会:死因究明](#)

# ソフト起動から書類出力までの主な画面遷移

The image displays two overlapping windows from the DiedAi software. The top window, titled 'ログイン' (Login), is the login screen for the '死亡診断書作成ソフト' (Death Certificate Creation Software). It features the 'DiedAi' logo, a 'ログインID' (Login ID) dropdown menu, a 'パスワード' (Password) text field, and 'ログイン' (Login) and 'キャンセル' (Cancel) buttons. The bottom window, titled 'メインメニュー' (Main Menu), is the main interface for the '死亡診断書(死体検案書)作成ソフト' (Death Certificate (Coroner's Report) Creation Software). It contains several buttons: '死亡診断書(死体検案書)作成' (Death Certificate (Coroner's Report) Creation), '検索' (Search), '死産証書(死胎検案書)作成' (Stillbirth Certificate (Stillborn Report) Creation), '出生証明書作成' (Birth Certificate Creation), '統計データ作成' (Statistical Data Creation), 'システム設定' (System Settings), and '終了' (End). The '死亡診断書(死体検案書)作成' button is highlighted with a red oval. At the bottom of the main menu window, there is a footer with the text: '日本医師会ORCA管理機構' (Japan Medical Association ORCA Management Organization) and '厚生労働行政推進調査事業費補助金地域医療基盤開発推進研究事業' (Ministry of Health, Labour and Welfare Administrative Promotion Survey Project Subsidized Regional Medical Infrastructure Development Promotion Research Project).

死亡者の基本情報

死亡者の基本情報 HELP

氏名  性別   
 カナ  年齢   
氏名およびカナは氏と名をスペースで区切って入力ください。

〒   
 住所を本籍地欄に印刷 TEL:  FAX:

生年月日   
 誕生時間   
生まれてから90日以内に死亡したときは生まれた時刻も入力してください。  
 生年月日を「H270331」「H270331」または「4270331」のように入力します。時間は「1830」のように24時間表記で入力します。

死亡年月日  死亡時刻

① 死亡した年月日を、「H270331」「H270331」または「4270331」のように入力します。  
 ② 「死亡したとき」は、死亡確認時刻ではなく、死亡時刻を1830のように24時間表記で入力します。  
 ③ 「死亡したとき」の一部が不明の場合でも、分かる範囲で入力します。死体検案によってできるだけ死亡時刻を推定し、その時刻を入力し「時分」の右項目に「(推定)」と入力します。または、一時点で明確に推定できない場合は、そのまま入力します。  
 ④ 死亡年、月も全くわからない場合は、「時分」の右項目に「(不詳)」と入力します。  
(注)「臓器の移植に関する法律」の規定に基づき脳死判定を行った場合、脳死した者の死亡時刻は、第2回目の検査終了時刻となります。したがって、死亡した年月日及び時分は、脳死判定に係る検査の第2回目の検査終了時刻を入力します。

死亡種別  1 病院  2 診療所  3 介護老人保健施設  4 助産所  5 老人ホーム  
 6 自宅  7 その他

死亡場所 住所   
 施設名

・「老人ホーム」は、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム及び有料老人ホームをいいます。  
 ・「自宅」には、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅を含みます。  
 ・施設名は死亡したところの種別が1～5の場合、その施設の名称を入力します。

戻る 次へ

死亡者の基本情報を入力する際の直接の死因等の入力支援機能  
 (一つの死亡原因を入力するごとに、確認を喚起する画面が現れる)

死亡の原因

直接の死因を入力してください

病名  発病(発症)又は受傷から死亡までの期間

(ア) 直接の死因  病名検索

◆死亡までの期間は年、月、日等の単位で入力。ただし、1日未満の場合は、時、分等の単位で入力してください。(例:1年3ヶ月、5時間20分)

入力 キャンセル

死亡の原因

死亡の原因 HELP

I 欄	病名	ICDコード	発病(発症)又は受傷から死亡までの期間
(ア) . 直接の死因	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
(イ) . (ア) の原因	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
(ウ) . (イ) の原因	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
(エ) . (ウ) の原因	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

II 欄 直接には死因に関係していないが、I 欄の傷病等の経過に影響を及ぼした傷病名等があれば入力

◆ I 欄、II 欄ともに疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は入力不可  
 ◆ I 欄では、最も死亡に影響を与えた傷病名を医学的因果関係の順番で入力  
 ◆ I 欄の傷病名の記載は各種一つしてください  
 ただし、欄が不足する場合は (エ) 欄に残りを医学的因果関係の順番で入力

死亡までの期間  
 ◆年、月、日等の単位で入力。ただし、1日未満の場合は、時、分等の単位で入力してください。(例:1年3ヶ月、5時間20分)。

○ 発病(発症)又は受傷から死亡までの期間  
 ① I 欄のア、イ、ウ、エ欄及びII欄に入力された(傷病名等)について、それぞれ発病(発症)又は受傷から死亡までの期間を入力します。  
 ② 年、月、日等の単位で入力します。ただし、その期間が1日未満の場合は、時間、分の単位で入力します。(発症日付を記入しないよう注意すること。)  
 ③ 死亡の原因となる傷病について、一時的に治癒したものであっても、死亡の原因に関係があれば治癒前の発病(発症)又は受傷から死亡までの期間を入力します。  
 ④ 期間が不明の場合は、「不明」又は「不詳」と入力し、空白は避けてください。

戻る 次へ

手術欄

手術欄 HELP

手術  無し  有り [  欄内  別添 ] 手術年月日

① I欄及びII欄の傷病名等に関係のある手術についてのみ入力します。  
 ② 手術を実施した場合は、「有り」をチェックし、術式及び診断名と関連のある所見（病変の部位、性状、広がり等）を分かる範囲で入力します。  
 ③ 該当する手術が複数行われた場合は、それぞれ入力します。  
 ④ 手術中（後）に明らかになった診断名や部位等についても、I欄、II欄の記載内容に反映させます。  
 ⑤ 紹介状や伝聞等による情報についても必要に応じて入力します。

手術年月日  
 ① 手術した年月日を「h270203」または「4270303」のように入力します。

戻る 次へ

「手術欄」の後、「解剖」、「Ai」、「死因究明検査」、「死因の種類」、「外因死の追加事項」、「生後1年未満で病死した場合の追加事項」と続く。

（「Ai」と「死因究明検査」については、本ソフトにて独自に付加した入力項目であり、「別添用紙」にのみ印字され、診断書書式には出力されない仕組みとなっている。）

